



事務事業名	新たな観光スポットの構築	事務事業No.	50302000570	所属課	商工観光課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	桜川市には歴史的町並みや真壁のひなまつりなど、知名度が高く多くの観光客が訪れる観光資源を有している。しかし、市内にはこれ以外にも観光的魅力を持ちながら気付かれていないスポットが多数存在している。こうした観光資源へ光を当て、新たな魅力を見出し、各種団体と連携し新たな観光スポットを構築することにより、四季を通して桜川市へ訪れる観光客を増やすことを目的として開始した。5年前と比較すると磯部地区のサクラや高峯のヤマザクラ等への注目度が高まった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	観光事業において、各地域の観光振興の平準化が必要である。岩瀬地区におけるヤマザクラ、大和地区の雨引観音、真壁地区の町並みやひなまつりを中心に桜川市の観光事業を盛り上げてほしいとの意見が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真壁の町並みやひなまつりのノウハウ(成功手法・秘訣)を参考にし、大和、岩瀬地区の観光の活性化に繋げる。</li> <li>・市民団体や実行委員会と連携し問題点を解決する。</li> <li>・雨引観音と連携し既存及び新たな観光資源のPRを実施する。</li> </ul>

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	県民及び首都圏の人々が桜川市全体を観光の名所として訪れるようになる新たな観光スポットの構築に繋がるため、適切である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	桜川市全体の素晴らしさを発信し、多くの人々にその良さを感じてもらうことも公共の重要な役割である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	新たな観光資源への支援を積極的に行うことは観光客の誘致へとつながる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	観光客の減少につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費はないが、観光協会からの支援を受けている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	対象は市民、県民及び首都圏の人々であり公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成25年度～岩瀬地区のヤマザクラ、大和地区の大和流鏝馬協議大会にスポットを当て積極的に支援を行った結果来訪者も所々に増えてきている。今後は周辺自治体との連携を深めながら、市や県のホームページ、キャンペーンなどを活用し観光PRの機会を作り、観光客の誘客へと繋げたい。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
改革改善を実現するには、その観光資源が持つ魅力を地元住民の方たちとともに発掘調査し、市や観光協会のホームページやSNSにより情報を発信する。また地元メディアを活用し、市内外にも情報を発信する。解決策としては、まず地元の受け入れ体制の整備として、組織の確立、駐車場、トイレの確保などがあげられる。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑦ コスト削減優先度評価結果 ⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認